



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

事例をまとめ高齢者・利用者の実態、困難をマスコミに告発していくにう！

日本経済新聞に、「介護1000事例」の取り組みが紹介！（全日本民医連） 多くの報道機関から個別取材が相次ぐ ー日本経済新聞で報道されるー

11月10日（月）に行った『「介護1000事例」の最終まとめの記者会見』以降、多くの報道機関から個別取材が相次いでいます。この間、「朝日新聞」「日本経済新聞」「東京新聞」「中日新聞」「共同通信」「連合通信」が全日本民医連を訪れ、日本経済新聞（2008年11月17日・朝刊）で取り上げられました。記者の方々は、介護問題に対する関心が高く、「介護1000事例」の中から取材先の紹介依頼も相次いでいます。

11月6日には、和歌山民医連が記者会見を行いました（推進ニュースNo.52参照）。各県連・法人ごとに集約した事例をまとめ、高齢者・利用者の実態を知らせる取り組みを行っていきましょう。

11月11日「介護の日」宣伝行動に28名が参加（民医連15名）（神奈川）

日頃の介護情景を思い出し目頭に光るもの浮かべながらの署名

10団体28名が昼時の横浜西口で、1時間「介護の日」宣伝行動をおこないました。短時間でしたが10人が「ヘルパーの立場」「事業主」「ケアマネジャー」「利用者」「労働組合」のそれぞれの立場で「利用料、保険料、消費税をあげないで介護改善を求める」訴えを行いました。

久々に500枚を超える「介護ビラ」と「介護のつどい案内ビラ」を配布する事ができました。「介護改善ビラ」が地域で大好評です。まだ机の隅に積んである事業所は即利用者さんや同業者に届けましょう。また、神奈川県社会福祉協議会と横浜市の介護の日イベント会場でも「介護のつどい」案内ビラ配布しました。

初老の奥さんが「98歳の親の介護をしているが、一人では介護がしきれなくなり3年前よりヘルパーさんの派遣をお願いしている。献身的なヘルパーさんの活動には感謝しています。冷遇されているヘルパーさんの処遇がすこしても良くなるように」と、署名をして下さいました。日頃の介護情景を思い出したのか目頭に光るもの浮かべながらの署名でした。ガバンを持つ県連事務局Sさんもついついもらい泣き。（神奈川民医連 介護ウェーブ推進ニュース No.09 2008.11.11より）



今、介護崩壊の危機！介護保険制度を考えるつどい

今年は介護保険の見直しが行なわれます。制度が変更してから、この間の変動料は4.4倍に引き上げられ、一ヶ月の保険料は4.7%引き上げられました。

その結果、介護サービスが制限される、規制で働く人は地域に比べ低い賃金で、また施設利用、通園者が多いです。これまでには介護崩壊です。安心できない介護崩壊への心配を共有してもらいたい。経験のご意見をお待ちしております。

日 時 12月12日(金)午前10時～正午
会 場 水産会館5階 大会議室(内丸)

- ①基調講演
介護制度の問題と改善点……
吉田 均さん(岩手県地域包括・在宅介護支援センター総括会長)
- ②働く者の提言
雨谷 信子さん(グループホームさくらの家)
◎在宅利用者は今…… 遊佐美和代さん(岩手県高齢者福祉生活協同組合)
◎事業者は言いたい…… 小野寺 忠さん(ヨープ介護福祉センターあい)
◎利用者、家族から 嶋崎 和子さん
◎介護事業計画は…… 盛岡市介護高齢福祉課(予定)

主 催 <介護保険制度を考えるつどい実行委員会>
岩手県社会福祉協議会、岩手県消費者団体連絡協議会、岩手県生活協同組合連合会、いわて生活協同組合連絡会、岩手県農業連合会、岩手県主婦連絡会、岩手県高齢者福祉生活協同組合
事務局：盛岡市介護高齢福祉課 電話 035-625-5253

今、介護崩壊の危機！介護保険制度を考えるつどい（岩手）

岩手民医連では、2008年12月12日（金）10:00～12:00に、水産会館5階大会議室で、他団体と共同した「つどい」を開催します。

吉田均氏（岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長）の基調講演「介護制度の問題点と改善点……」、現場からの報告「働く者からの提言」（熊谷信子氏・グループホームさくらの家）、「在宅利用者は今」（遊佐美和子氏・岩手県高齢者福祉生活協同組合）、「事業者は言いたい」（小野寺忠氏・ヨープ介護福祉センターあい）、「利用者、家族から」（嶋崎和子氏）、「介護事業計画は」（盛岡市介護高齢福祉課）等の企画が行われます。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp